

回復期リハビリテーション病棟入院料1に関する掲示

1. 回復期リハビリテーション病棟の過去3ヵ月ごとの退院患者数と回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

令和 8 年 4 月		
当該病棟の退院患者数		17 名
内訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2ヵ月以内	17 名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヵ月以内	0 名

令和 8 年 5 月		
当該病棟の退院患者数		13 名
内訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2ヵ月以内	13 名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヵ月以内	0 名

令和 8 年 6 月		
当該病棟の退院患者数		14 名
内訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2ヵ月以内	14 名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2ヵ月以内	0 名

2. 実績指数(点)

令和 8 年 1 月～令和 8 年 6 月	55.1
-----------------------	------

※実績指数は、リハビリテーションを提供したことによる改善を示す数値であり、実績指数が42点以上で、「効果に係る相当程度の実績が認められる」と判断されます。